

教職員の皆さんへ

サマーセミナー受講生募集

平成29年度教職員サマーセミナー案内

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

裏面のとおり12講座を開きます。詳細は、

- 宇都宮大学教職センターのホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php>

- 栃木県総合教育センターのホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

に記載されています。

対象者

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

会場と時間

宇都宮大学（峰キャンパス）において、9時30分から16時まで

申し込み方法

7月6日（木）までに、次のいずれかの方法により申し込んでください。

- ① FAXによる申込み

裏面のFAX送信票に必要事項を記入して送信してください。

FAX番号：028-649-5334

- ② メールによる申込み

勤務校名、同電話番号、同FAX番号、申込者氏名、研修区分、

受講希望講座番号、受講希望講座名を明記して次のアドレスに送信してください。

kyosyoku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

旅費等

宇都宮大学及び総合教育センターから旅費の支出はありません。また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もありますので、御承知おきください。

その他

- ① このセミナーは、初任者研修、教職2～5年目研修、養護教諭2～5年目研修、学校栄養職員2～5年目研修、中堅教諭等資質向上研修の選択研修の対象にもなっています。

- ② 会場の宇都宮大学（峰キャンパス）には自家用車で入構できます。大学へのアクセス及び構内案内は、宇都宮大学ホームページで確認してください。当日、正門案内所でも御案内いたします。

- ③ このセミナーに関する問合せは、宇都宮大学教職センター地域連携部門（028-649-5272）で承ります。

主催 宇都宮大学教職センター・栃木県総合教育センター

平成29年度 教職員サマーセミナー受講申込み FAX 送信票

送信先	宇都宮大学教職センター 教職員サマーセミナー担当 宛			FAX	028-649-5334			
発信元 (申込者)	勤務校名	立			学校			
	電話番号	— —		FAX番号	— —			
	申込者 氏名	(ふりがな)						
	研修区分	選択研修として受講を希望される方は、該当の口欄に ○ をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 初任者研修 <input type="checkbox"/> 教職2～5年目研修 <input type="checkbox"/> 養護教諭2～5年目研修 <input type="checkbox"/> 学校栄養職員2～5年目研修 <input type="checkbox"/> 中堅教諭等資質向上研修						

希望	講座 番号	講座名	分野	講師	実施日	定員	対象教員	その他
	1	森鷗外の歴史小説を読む	日本文学	守安 敏久	7月21日 (金)	24名	小・中・高・特	☑
	2	特別支援教育における ICF 支援シート活用	特別支援教育	池本喜代正	7月24日 (月)	50名	小・中・高・特	☑
	3	楽しみながら学ぶ小学校理科	粒子、エネルギー	南 伸昌	7月25日 (火)	24名	小・中・高・特	☑
	4	たのしい音楽授業のための鑑賞教育のポイント	音楽	平井 李枝	7月25日 (火)	30名	小・中・高・特	☑
	5	アクティブ・ラーニング実践	授業方法	皆川 純男	7月28日 (金)	30名	高	☑
	6	発達障害児へのアセスメントと個別支援	特別支援教育	原田 浩司	7月28日 (金)	72名	小・中・高・特	☑
	7	発育期における体育・スポーツ指導のあり方	保健体育	加藤 謙一	7月31日 (月)	20名	小・中・高・特	☑
	8	アジアのかたち・日本のかたち～漆 japan —伝統漆芸技法 沈金による表現 ワークショップ—	美術工芸	松島さくら子	7月31日 (月)	20名	小・中・高・特	☑
	9	体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし (その4)	保健体育	茅野 理子	8月3日 (木)	30名	小・特	☑
	10	思考力を育てる算数・数学の授業を考える	数学教育	日野 圭子	8月9日 (水)	30名	小・中(数学科)	☑
	11	「特別の教科 道徳」の授業の教材と発問	学校教育	和井内良樹 上原 秀一	8月17日 (木)	100名	小・中	☑
	12	異文化理解の教育を考え、創る： 講義とワークショップ	国際理解教育	丸山 剛史 森田香緒里	8月18日 (金)	35名	小・中・高・特	☑

※「その他」の欄に☑を付した講座については、準備するものや注意事項がありますので、ホームページをご確認ください。

《備考》

1. 参加を希望する講座の希望欄に○を付けてください。(複数選択可)
2. 各講座の詳細は、宇都宮大学教職センターまたは栃木県総合教育センターのホームページでご確認ください。
3. 申込期限は、7月6日(木)です。
4. 定員を超えた場合は先着順とします。状況によっては、多少の増員をする場合もあります。
5. 受講の可否は、7月中旬頃に各所属長あてに通知します。
6. 申込みの際は、本送信票をコピーしてお使いください。

1. 森鷗外の歴史小説を読む

(分野：日本文学)

講師： 守安 敏久

実施日・時間： 7月21日(金) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 地域連携教育研究センター2階5C21教室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 24名

準備等： 森鷗外『山椒大夫・高瀬舟』(新潮文庫)を各自、事前購入。教材とする作品を事前に読んでくること。

概要： 森鷗外の歴史小説「興津弥五右衛門の遺書」「護持院原の敵討」「山椒大夫」「最後の一句」「高瀬舟」を扱い、鷗外の文学的な方法と思想を考察します。安寿と厨子王の物語「山椒大夫」、安楽死の是非を問う「高瀬舟」など、多くは親しみやすい作品です。教材とする作品を事前に読んできてください(新潮文庫『山椒大夫・高瀬舟』所収)。この新潮文庫をテキストとしますので、各自の責任で事前購入をお願いします。

2. 特別支援教育におけるICF支援シート活用

(分野：特別支援教育)

講師： 池本 喜代正

実施日・時間： 7月24日(月) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 地域連携教育研究センター2階5C21教室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 50名

準備等： 特になし

概要： 通常の学級や特別支援学級などに在籍する特別な支援が必要な子どもの見方・支援の在り方を、WHOのICF(国際生活機能分類)の視点からICF支援シートを活用して検討します。まずは、ICFの考え方を講義・理解していただき、実際に支援シートに子どもの実態を記入し、支援方法・手立てについて討議しながら考えたいと思います。

ICF支援シートを作成することは、個別の指導計画作成の基礎となります。個別の指導計画作成の上での考え方や手立てについても言及したいと思います。

※参考書：『特別支援教育のためのICF支援シート活用ブック(田研出版、池本喜代正(編著))』

3. 楽しみながら学ぶ小学校理科

(分野：粒子、エネルギー)

講師： 南 伸昌

実施日・時間： 7月25日(火) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階理科教育学学生実験室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 24名

準備等： 白衣、もしくは実験用着衣。安全メガネ(貸出有り)。ハサミ。

概要： 実験や工作を通じて、小学校理科の次の内容を扱う。

- ・ものの重さ：誤概念、軽いものの計量。
- ・燃焼の仕組み：炎の性質、燃える条件、固体・液体・気体の燃え方の違い。
- ・水溶液の性質：酸・アルカリと物質の安定性、身の回りの試薬・指示薬。
- ・電気の利用：発電・蓄電、電気の変換・利用、電磁石。
- ・その他：科学工作ネタ何点か。

※実験に適した楽な格好で来てください。(作業着、ジャージ可。)

4. たのしい音楽授業のための鑑賞教育のポイント

(分野：音楽)

講師： 平井 李枝

実施日・時間： 7月25日(火) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 7号館2階音楽ホール

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 30名

準備等： 特になし

概要： 本講座では、小学校、中学校、高等学校の音楽授業の構成要素となる「鑑賞」に焦点をあて、その授業方法について研究します。さまざまな音楽鑑賞教材を用い、児童生徒が興味をもって鑑賞するには、どのような視点で授業を行ったらよいか、講師による生演奏を交えながら、わかりやすく、たのしい音楽授業を目指すために、アプローチの方法、ワークシートの作成方法など教育現場で役立つポイントを講義しながら、実践を行います。

5. アクティブ・ラーニング実践

(分野：授業方法)

講師： 皆川 純男

実施日・時間： 7月28日(金) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス UUプラザ2階コミュニティフロア

対象教員： 高等学校

定員： 30名

準備等： 参加者同士が日頃の授業の現状や課題について話し合う時間を設定しますので、各自の考えをまとめておいてください。

概要： これからは高校でも、生徒にいか「主体的・対話的で深い学び」を引き起こすかが問われるようになってきました。アクティブ・ラーニングが求められる背景とその意義、アクティブ・ラーニング型授業の具体的な進め方について紹介します。昨年度の「アクティブ・ラーニング入門」と一部重複しますが、今年度はより実践的な内容とします。

生徒が生き生き学ぶ、そんな授業に改善するきっかけを見出していただければと思います。

6. 発達障害児へのアセスメントと個別支援

(分野：特別支援教育)

講師： 原田 浩司

実施日・時間： 7月28日(金) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 72名

準備等： 筆記用具、ストップウォッチ、計算機(スマホ等でも可)

概要： 特別支援教育の中でも通常学級における発達障害児への個別支援の在り方が問われています。特に、通常学級では早期発見・早期支援の可否が、子どもたちの学校生活の適応に大きな影響を及ぼします。

今回は、発達障害のアセスメントについての方法を体験的に学んだり、事例を通した個別支援の在り方を考えていきます。

7. 発育期における体育・スポーツ指導のあり方

(分野：保健体育)

講師： 加藤 謙一

実施日・時間： 7月31日(月) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 地域連携教育研究センター2階5C21教室
及び第一体育館

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 20名

準備等： トレーニングウェア(着替え等)、体育館シューズ、はさみ

概要： 現在の子どもが置かれている環境を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。

※講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい(見学可)。実技内容はハードではないのでご安心下さい!

8. アジアのかたち・日本のかたち～漆 japan

—伝統漆芸技法 沈金による表現 ワークショップ—

(分野：美術工芸)

講師： 松島 さくら子

実施日・時間： 7月31日(月) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟1階図画工作室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 20名

準備等： ○エプロンなど作業に適した服装(できれば長袖)

○材料費 800円程度(本漆塗パネル、本漆、金粉・銀粉、その他)

○12.5cm×12.5cmの黒漆塗りパネルに線彫りや点彫りを施すと想定して、図案の構想(下図)を持参してください。

概要： 漆芸を中心に日本やアジアの工芸を紹介する講義と、日本の伝統漆芸技法である沈金による平面表現ワークショップを行います。沈金は、漆塗り面に線彫りや点彫りを施し、薄く漆を擦り込ませ、金粉・銀粉を蒔き付けることで、彫った部分にのみ金銀粉による文様が浮かび上がって見える表現です。日本の伝統文化を理解し、さらに日本やアジア諸外国の芸術文化に興味を持ち、尊重する態度を養い、一生涯にわたり愛好できるよう指導に繋げていただきたいと思います。

9. 体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし (その4)

(分野：保健体育)

講師： 茅野 理子

実施日・時間： 8月3日(木) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 第二体育館

対象教員： 小学校・特別支援学校

定員： 30名

準備等： タオル、バスタオル

概要： 体や心の緊張をほぐすとともに人間関係の緊張をほぐす様々な「遊び」の実践 ― 今回は、「その4」として、改めていまの自分に気づくことで心と体を調べ、他者に気づき、他者との関係を築いていくことを目標とします。実践は、「体ほぐしの運動」やアイスブレイキングに応用できる内容です。柔軟に対応できる心と体となるように…夏の日、思いっきり笑って、心も体も軽くなりませんか。

10. 思考力を育てる算数・数学の授業を考える

(分野：数学教育)

講師： 日野 圭子

実施日・時間： 8月9日(水) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A21教室

対象教員： 小学校・中学校(数学科)

定員： 30名

準備等： 特になし

概要： 算数・数学科において、思考力育成に関わる研究の動向や次期学習指導要の動向を紹介し、数学的活動を授業に取り入れる視点や手立て、教師の役割について考察する。本授業は、講義だけでなく、グループワーク等も取り入れて進めていく。思考力を育てる授業の視点が多様であることを知り、自身の授業について振り返り、視野を広げる機会となるようにしたい。

1 1. 「特別の教科 道徳」の授業の教材と発問

(分野：学校教育)

講 師： 和井内 良樹 上原 秀一

実施日・時間： 8月17日(木) 9時30分～16時

会 場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室及び地域連携教育研究センター2階5C21教室

対象教員： 小学校・中学校

定 員： 100名

準備等： 特になし

概 要： 平成30年に小学校で、平成31年に中学校で、「特別の教科 道徳」(道徳科)が導入されます。児童生徒の道徳性の育成に向けて、道徳科の授業ではどのような教材を活用しどのように発問をしたらよいでしょうか。具体的な教材を使ってこれらの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校の各段階で用いられる代表的な教材を取り上げて、グループワークを中心とした講習を行います。

1 2. 異文化理解の教育を考え、創る：講義とワークショップ

(分野：国際理解教育)

講 師： 丸山 剛史 森田 香緒里

実施日・時間： 8月18日(金) 9時30分～16時

会 場： 宇都宮大学峰キャンパス UUプラザ2階コミュニティフロア

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員： 35名

準備等： 特になし

概 要： このセミナーは、異文化理解、国際理解の教育をテーマとしています。セミナーでは、(1)参加者が異文化問題や国際理解教育で困っていることや関心事を出し合い、(2)異文化理解・国際理解に関する教育について、外国人児童生徒教育における取り組み、イギリスにおける取り組みを紹介しながら、(3)ワークショップにおいて指導計画・授業を参加者全員で考えます。